

## 1. 今年度の就職状況について【3年生の状況】

### (1) 求人状況

表1

12月12日現在

表1は、過去5年間の本校に対する求人件数の推移を表したものです。

コロナ禍の影響が続くことが心配されましたが、昨年に引き続き6.3%の増加があり、近年では過去最高の求人数となりました。その結果、生徒の希望と十分にマッチングできるだけの求人をいただきました。

|    | H30 | R1  | R2  | R3  | R4  | R5  |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 管内 | 134 | 134 | 93  | 109 | 134 | 128 |
| 県内 | 241 | 249 | 191 | 205 | 256 | 269 |
| 県外 | 223 | 253 | 210 | 212 | 263 | 300 |
| 合計 | 598 | 636 | 494 | 526 | 655 | 697 |

### (2) 就職状況

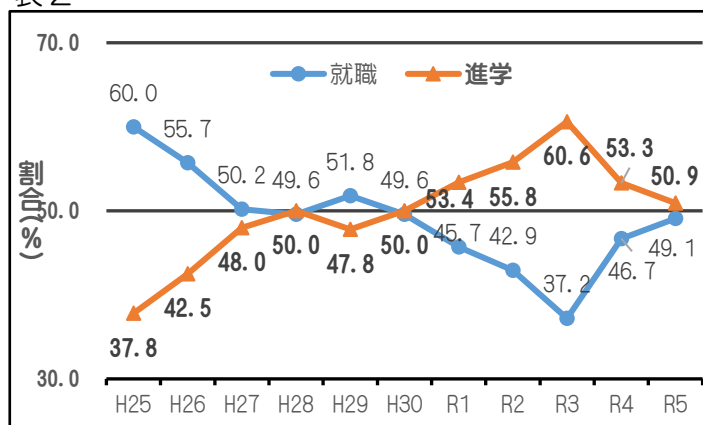
表2は、松桜高校1期生からの就職者と進学者の割合の推移を表したものです。

今年は215名のうち、約49%にあたる104名が就職を希望しました。内訳は、学校推薦96名、自己開拓8名、公務員が3名です。

いずれの学科の生徒も、専門教科で培ったことを生かせる職業を望む割合が非常に高くなっています。

地域別では、例年7割前後の生徒が近隣の事業所を希望しており、今年は、佐野市管内および栃木県内扱いの求人を希望した生徒は、74名(77.9%)でした。

表2



### (3) 内定状況

12月23日現在の本校の就職内定率は、99.0%です。

【参考】県内高校生の9月末の就職内定率は、69.6%で前年比3.2%増。(栃木労働局調べ)】

今年の採用試験の傾向として、昨年よりもWeb（パソコン）を利用したSPI試験を実施した企業が増加したことが挙げられます。Webを利用した受験の場合、問題1問ごとに制限時間が設けられており、制限時間を超えると自動的に次の問題に進むため、時間を超えて問題に取り組むことが出来ません。また、前に戻って解答することも出来ません。

企業によっては、面接での評価がどんなに良くても、筆記試験（学力試験・適性検査）の結果が基準に達していない場合、内定をいただけないこともあります。1・2年生は、朝の学習や普段の授業など、知識を身につけるチャンスを無駄にしないようにしましょう。

また、適性検査の結果などから、職種に対する適性不足を問われることもあるので、自分がその職種に向いているのか客観的に判断することも必要になってきます。家族や友人、先生からのアドバイスに是非耳を傾けてみてください。

その他に、欠席が多いことで、受験を断られることもあります。日頃から規則正しい生活を心掛け、健康管理に気をつけましょう。欠席・遅刻・早退や欠課（保健室）が少ないことは、皆さんが思っている以上に皆さん自身の「強み」になります。多い人は改善していきましょう。

## 2. 進路意識に関するアンケート結果について【1・2年生の状況】

1・2年生が12月に、インターンシップや校内進路ガイダンスをそれぞれ行った後に実施したアンケートの結果を表3にまとめました。（抜粋）

多くの生徒が「希望する進路先に合格できるのか、学力に不安がある」と回答しました。しかし、「勉強への意欲がわからない」割合も半数いて、相反する結果となりました。まずは、毎日の授業を大切に、基礎学力の向上や資格・検定の取得に励んでください。コツコツ努力することで、学力が身につきます。

表3

| 質問内容                | 1年生 | 2年生 |
|---------------------|-----|-----|
| 希望する進路先に合格できるか不安である | 71  | 69  |
| 学力が足りないかもしれない       | 80  | 67  |
| 勉強への意欲がわからない        | 63  | 66  |
| 自分に合っているものがわからない    | 65  | 66  |
| 希望進路を家の人は知っている      | 79  | 89  |
| 進路について家の人とよく話をする    | 49  | 59  |

[%]

また、「自分に合っているものがわからない」という1・2年生が多く、2年生はいろいろ経験して自分の適性や将来について悩んでいるようです。勉強に加えて、部活動やボランティアなどの課外活動にも積極的に取り組みましょう。好きなことに熱中したり、友人や先生、家族に進路について質問してみると、知りたいことが増えて視野が広がります。

「進路について家の人とよく話し、家の人が希望進路を知っている」割合は、例年2年生になると増加する傾向です。冬休みにぜひ、仕事の話や人生の話を家族でしてみてください。

## 3. 進路室から

### （1）3年生へ

進路選択から決定まで、限られた時間の中で順調に進んだ人が多かったのは、今までの努力の成果や、周りの人（先生方や家族、友人）の支えがあったからです。しかし、進路決定後に気の緩みはありませんでしたか？支えてくれた周りの人達への感謝の気持ちを忘れていませんか？合格したからと、これまでのことはリセットしてしまっても良いのでしょうか？

今は、次のステージに向けた準備の期間です。進路先からの課題にしっかり取り組み、提出期限のあるものは、必ず期日を守って提出してください。課題がなくても、読書や自学自習で学び続けてください。

夢をかなえるため今もチャレンジを続けている人は、人一倍悩んだ分、大きな実を結ぶでしょう。健闘を祈っています。

### （2）1・2年生へ

就職に関しては、来年の求人数は不透明ですが、どんな状況であっても、基礎学力の高さ・自分の考えを正しく伝達する力・心身の健康を必要とします。

進学に関しては、「とりあえず進学」しておこうではなく、その学校を卒業した後「どの職業に就くか」を見据えておくことが重要です。また、進学模試や看護模試（希望者）等を積極的に受験し、自分の現在の学力を知り、少しでも学力を向上させてほしいと思います。

1年生は2年生になった時点で「就職か進学か」の選択ができ、2年生は3年生になった時点で「ここに就職したい」「ここに進学したい」という考えをもつことが望ましいです。

自分の興味（やりたいこと）と自分の特性（できること）から、職業を考えてみましょう。その際には、「やりたいこと＝できること」なのか、「好きなこと＝将来の仕事」にできるのか、ぜひ家族や友人、先生と話し合ってみてください。

また、進路室にはたくさんの資料があります、来て・見て・聞いてください。

